



森の楽校だより

VOL. 3

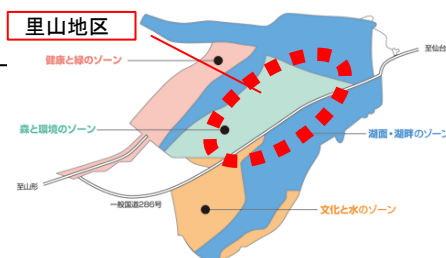


森の楽校とは？

みちのく公園里山地区は、雑木林におおわれた森のエリアです。人と自然のかかわりや、生物多様性について学び体験できる里山として、平成26年に開園を予定しています。

市民が身近な自然に親しみ、里山活動に気軽に参加する機会を設けるため、昨年度に引き続き、「みちのく森の楽校」を開催します。「森の楽校」では、森に係るさまざまな活動を楽しみながら、これからの里山と人のかかわりを築いていきます。

平成24年度は活動の拠点となるツリーハウスづくりを中心にビューポイントや園路づくり、施設づくりなど活動の場を広げていきます。



5月26日（土）晴れ 階段づくり、ウッドチップづくり



階段で記念写真をパチリ

ファーストデッキに階段を作りました。

今回の活動は、ファーストデッキの階段づくり、手摺づくりを中心に行いました。

また、ツリーハウス作りのため伐採するスギの小枝や端材などを有効利用するため、ウッドチップづくりを始めました。ウッドチップは、今後ツリーハウスの周りや散策園路に敷いていく予定です。



ツリーハウスへ向かう途中のコナラ林とカエデの若葉



里山は新緑真っ盛り、今日は天気も良く里山で活動するには最高の一日となりました。

ウッドチップづくり



粉碎機（チップパー）という機械です。投入口から小枝などの木材を差し入れると粉碎されたウッドチップが下部の排出口から出てきます。

出来あがったウッドチップは一旦、袋に詰め、ツリーハウス周辺や、散策園路に敷いていきます。



デッキ手摺づくり



スギの枝の反りを活かしたアーチ状の格子を取付けました。ビス止めしたあと、化粧を兼ねて麻ひもで補強しています。



階段づくり



前回つくった階段の土台に袖となる半割丸太を固定します。階段の高さ、幅を計算しながら、角度を決めていきます。



袖の部分に水平を見ながら、角材を取付ます。この角材に板材を固定して階段を作っていきます。



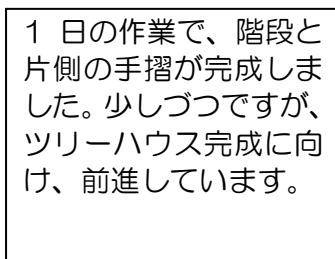
角材に踏面（段）を固定します。



手摺の柱を建てます。ツリーハウスの入口（ゲート）でもあるため、下段の柱は、まるで床柱のような表情ある丸太を使用しています。



階段の傾斜に合わせ、手摺となるやや細い丸太を固定します。このあと転落防止と補強を兼ねて、筋交い状の格子を入れる予定です。



1日の作業で、階段と片側の手摺が完成しました。少しずつですが、ツリーハウス完成に向け、前進しています。



お昼のひと時



会員さんに差し入れていただいた小松菜で味噌汁とおひたしをつくりました。

ハンモックでお昼寝

